

事業番号	0	7	2
実施計画事業			
実施計画事業以外の事業	○		

令和元年度 事務事業評価シート

1. 事業の概要

事務事業名	青少年健全育成推進事業				担当部	こども未来部					
事業期間	平成12年度 ~ 令和2年度以降				担当課	こども政策課					
新基本計画 (平成26年~平成30年)	基本施策	13	展開方向	4							
予算区分	一般会計	款	10 教育費	項	05	目	04	大	04	中	01

2. 実施状況

- ・青少年の健全育成を啓蒙するため、市民でつくる青少年健全育成市民会議へ補助を行った。28年度から展開している「笑顔でさきがけ あいさつ運動」では、チラシ・ポスターを作成して啓発を行い、6月と11月に市内一斉であいさつ運動を実施した。少年センターが市民会議の事務局となっている。
- ・あいさつ運動の推進、地域ふれあい活動の推進、いじめ・非行防止啓発活動、明るい家庭づくりの推進、安全安心の地域環境づくり、ネット犯罪やトラブルから青少年を守る運動の推進、青少年非行防止キャンペーン・青少年によい本をすすめる運動・家庭の日推進運動なども行った。
- ・学校と地域のパイプ役として学校と相談しながら活動する学校地域コーディネーターを、各中学校へ1人~2人配置し、ボランティアの取りまとめや子どもたちの地域活動の推進を図った。

3. 総合診断

事業費	項目	単位等	H27	H28	H29	H30	R1		
			直接経費	財源	千円	8,875	8,432	8,401	10,711
	一般財源	千円							
	国・県支出金	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0			
	計(A)	千円	8,875	8,432	8,401	10,711			
	対前年比	%	-	95.0%	99.6%	127.5%			
	(当初)予算額	千円	10,513	10,044	10,011	12,692	12,665		
人件費	正職員	人	0.5	0.5	0.5	0.5			
	正職員(平均賃金)	千円	3,743	3,743	3,743	3,743			
	その他職員	人	0	0	0	0			
	その他職員(時給×時間)	千円	0	0	0	0			
	計(B)	千円	3,743	3,743	3,743	3,743			
	事業費合計(C=A+B)	千円	12,618	12,175	12,144	14,454			
指標	成果指標	中学校地域コーディネーター活動回数	目標	700	700	700	700	700	
		実績		733	635	633	556		
	活動指標	中学校地域コーディネーター人数	目標		9	9	9	9	
			実績		15	14	14	14	
		@事業費	受益者数(a)生徒数	人	4,464	4,408	4,317	4,171	
			受益者あたり事業費(b=C/a)	円	2,827	2,763	2,814	3,466	

	改善点は見られない	○	改善点が若干見られる		大いに改善すべき
	診断結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年健全育成指導員を1名増員し、健全育成事務の推進に努めた。</li> <li>・学校地域コーディネーターの派遣を行い、学校支援ボランティアの活動支援、児童・生徒の地域活動への参加を促進した。</li> <li>・学校地域コーディネーターの活動回数の減理由については把握していないが、ボランティアであり、職業をお持ちの方も多いことや、PTA活動の見直しなどが考えられる。</li> <li>・青少年健全育成市民会議の事業として、市内16小学校の内、29年度未実施の9小学校の高学年を対象に、スマホ教室を開催した。スマホ・ネットトラブルの危険性と犯罪に巻き込まれない予防知識を学ぶ機会となっている。</li> </ul>			

#### 4. 総合評価

事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの				
	削減額・対象	事務事業評価による額	千円	予算区分	節	節
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校地域コーディネーターの派遣事業、青少年健全育成市民会議への支援は、学校、家庭、地域の連携を目的として「子どもが健やかに成長できる環境づくり」を行うものであるため、引き続き実施する。</li> <li>・青少年健全育成市民会議の事業は、引き続いて実施していく。スマホ教室を希望するすべての学校で開催を行っていく。</li> <li>・「少年の生活意識と行動」の実態調査によると、声をかけてくれる人がいると感じている子どもの割合が増加しており、28年度から取り組み始めた「笑顔で さきがけ あいさつ運動」の成果が確認できているため、引き続き実施する。</li> <li>・地域コーディネーターの人材課題は、引き続き情報交換会を行うなど、話し合いを行っていく。</li> </ul>					